

LGBT

隠された真実

「人権」を装う
性革命

連載第8回

「男女の区別」すら差別(つづき)

要か生ク寒限 日dえ一ニ校用ジ服地 のをム人統ととまのへ欄十の度拡も
望し徒ス対ら従 いた年十 校ニ大で男声席を権計あ っ調十が六うに大性公
に なる策ず来 。Aとに年十数ン手広女も止恐回上るあて査八消道ちはし別立
つそど用の かい は七九はダのがの上すれ体も 。まいで年え府、て欄高
いいはを意動ら 二う一十年十トリ制がてや重しりたは度た。で京十る止の
てう存要味き、 十(〇五四八レを服て風安動なし急と府の 男都七 の入
はし望でや性 一朝〇十年スボ見い潮易家指 激を県朝 十女を都二動学
校たしす 年日〇校五三制にせ由るににの標性な考に日九の除道十き願
長個たるス違 四新校、十百服おる化。は性ク標性な考に日九の除道十き願
の別。女うや和 月間を二校七のけ。も 疑別レだ別変えと新年性く府一が書
裁のし子ッ防に 二五超十、十採る制各 問欄1。は化ると聞春別四県年急で

さりマズレ急たのれこ立更と制新二のべげ雄あら生で ほ選にスンとなんて量
れ上スやス速事相てれ高しを服間十動きて的たに徒はしとん五をボ言必ダおで
たけメ教化な案談いも校たきへが一き 行かクのスかんだ人選にっ要り判断
結たデ育は制でてる美の千の一年を過動もロ事カしど男未ぶよて性レ 断
果時ィ配現のる分、のを県け痛の月しシダ応うをアどをデい、は力徒ス実まえ体
に代ア配現のる分、のを県け痛の月しシダ応うをアどをデい、は力徒ス実まえ体
すのなで実ジ、に本よ掲市にを女にしとにまッをはィ、実1はう際りるをに
ぎ空どは的ニつ対来う載川校訴子はて1とにまッをはィ、実1はう際りるをに
な気がななま応はにし市則え生、いれも持もづこくア。例ト学ッにな切ジな
いにつく、ニダリで個扱たのをた徒朝のスイちるしと男報 例ト学ッにな切ジな
の流く、11、き別わ。公変こが日。う上英、さ子道 がを年クトい実エッ

士ど異断関そ単に生企トてア性 しの者 異も的本さ人別示向若先常いきききなや訴
では性で係れなな業ナをも同例ま悪。そな。な人らに違さが年になるな志のど性え工
ああ同きなとるどの1。自がば。のよ結。点種断主言ま。お的わたのかの変で様がタ
れり士なのも友。を家だてが、のよ結。点種断主言ま。お的わたのかの変で様がタ
ば得でいか性人し利用とたる人、女 危険。性「自 別が外、解大子るはに主こ主こ「生種性禁
よが偽も第に係しで張がけ1同 性「自 別が外、解大子るはに主こ主こ「生種性禁
り「装ち三結な「きのす同 性「自 別が外、解大子るはに主こ主こ「生種性禁
偽同結る者ばのそる福れ性でム士、生禁「当 性「自 別が外、解大子るはに主こ主こ「生種性禁
装性婚んはれかれこ利ばパあシ 性「自 別が外、解大子るはに主こ主こ「生種性禁
の同な「判た「がと厚、1っエ男 性「自 別が外、解大子るはに主こ主こ「生種性禁

中て「装で 今談男「使し日ま断スがたの用日 だ。は起教侵型一い性女らる者 るた
でい私趣女も回がが女用「にまはジ女。男施にさ か男こ員入書年る犯性をケがもだめ
供たは味湯うの度入性し女はだなエ性こ性設はら らだっがし店五が罪ス「1「っるの
述が心のに一処々って子女がくン」の二に大に 入がた達たで月「者ベ「女ス性とうハ
を「は男入方寄てイト性「ダだう人侵阪二 っ、捕五、日が1「性だ自深 1ドル
翻取女だっは至るにイの十身1とちを入府十 た気彼さ十女札本問スだ認刻 ドル
しり「た、つれ「昨も装前も医う人類たが年 持はれ六子幌で題にと欧「な は低
調と彼単入たて「女年も装前も医う人類たが年 主が戸事のイ内二なりしで悪は 低
性べ主はな浴。りとし降十外ら性のラ「換籍女月 張女籍件男レの〇っ込ては用犯 低
的の張当る施。りとし降十外ら性のラ「換籍女月 張女籍件男レの〇っ込ては用犯 低
興途し初女設「相た「回出休の診心し上性六 し性上が性に大二てむ「自す罪 低

かを るう本断とに さ子をいし術医ら確でにだるたそ別こ る者物てど事利の心怖性 違女いこが師で法の「しこしとン付るは 性状奮
ど伴身ここ人やな基しれトくるてな師こなあ、客犯れ違れさのち行活般のをな的てち際でトに条要診「扱同こ人しの1、相事察罪など
う体ととが手つづかイの厳どのそ判る自性観罪と和らにだの動し社多被らな利はにあるイ「件とや別以の性にも現應主が分を前るあち機
か手的にを主術たくしとにしあい性断例は専す認基な性当人 努はての会くつす恐用「苦。レ正を明性の下特障変違の在をにしう「検者。らだ
は術に周張有合別一は入る要別や法難門るは準の別事物 力そい、はた、怖で(情 を当満記別変「例害わ法法ににしう「検者。らだ
議の大。困す無を律い。てれそを要別はいでとれなを和な本問題 踏し。ル特一質味なイ入 う理して適更特に者り行律まに上せいス意につ 明た
論有き がるを医禁に。もばの課更移、すも動い見をの当題 みたこに例方的わいれ をた じ事人つな当不たと「女 にはあ者込難向は罪指強調
が無な 強性問医禁に。もばの課更移、すも動い見をの当題 みたこに例方的わいれ をた じ事人つな当不たと「女 にはあ者込難向は罪指強調
分をり 要別わ師止性 違「条しに行複だら可くこ分装かには、 じ事人つな当不たと「女 にはあ者込難向は罪指強調
か問ス さですのす自 捕女件て際手数が正能上とけっ「性、 じ事人つな当不たと「女 にはあ者込難向は罪指強調
れうク れ扱「診る認 捕女件て際手数が正能上とけっ「性、 じ事人つな当不たと「女 にはあ者込難向は罪指強調

あいまいな「性的指向」と「性自認」

だたと女らの異問のすかに 調だ
本ろめのを始違性がかかる「しそ圧
来うの節区まいへ生。こ男ても力。これ
、第度別るをのてし本と女いそでこ
一あす「理配しはの区意制ある。ま
歩るる制解慮かそ弊別義服をさ
と関の服すはるべう害をはをに
も係はなる、いを「どこ異きしは曖何男
え育異でと性だたな味な女「同
るむ性男かと「疑いにの別「同

い同じポイかる視報だら性た別別
る様で1れら。点道がン差ちの違
のくツ・ずこはに「スのの配和
混る参更性の完お加を理発慮の
乱だ加収自ま全い熱と解達と子
がるな室認まにてするの段「供
待うどのにい欠「るこ重階一た
ち。も使基け落そメと要に般
受欧現用づばしうデが性おのへ
け米実やく、てしィ必のけ生の
てと化スト遠いたア要る徒個



編集部では皆様からのご意見・
ご感想をお待ちしております。
また、実名・匿名に拘らず、情
報提供もどしどしお寄せ下さい。

がは的ら義に 悪きとる自法的認い当が、 りり悪どを式もる
残「指なを当いなるだり称律な「う事、念うス用し受に複と
つま向い明たず話当「ス「に判性こ者この クすなけ性数こ
てだ、確つれた事こク当盛断的とがこた るるけた同のろ
いる。ま性そにてにう。にはあ者込難向は罪指強調 け間ばに性師が
だ自のしはしと真る「むしとな者摘し調 らが「限障に、
議認意な「て っ面とがこいいにたし 出性定害よ少
論に味け言も て目い悪と概う。なのて なた自すのっな
のつでれ葉法 余い「ばの制 迷生こす「を観自と「く だるをな断正と